

日本医師会生涯教育講座（2単位 1, 10, 15 申請中）
（公財）日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定
（一社）日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会
～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内

厚生労働省、北海道、（一社）北海道医師会
（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、北海道及び（一社）北海道医師会並びに（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会をハイブリッド型講習会（会場参加講習会＋ライブ配信によるオンライン講習会）として下記のとおり開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1 日時 2022年11月12日（土） 午後3時～午後6時15分

2 会場 とかちプラザ・視聴覚室 帯広市西4条南13-1

3 内容

コーディネーター

- JA北海道厚生連帯広厚生病院緩和支援治療科 主任 木村 陽 先生
(1) 講演 「新しいWHOのがん疼痛治療戦略」
札幌医科大学医学部麻酔科学講座 講師 緩和ケア・支援療法管理室長
岩崎 創史 先生
(2) 講演 「医療用麻薬の安全で有効な使用に対し薬剤師ができること」
帯広第一病院 法人統括薬剤部長・薬局長 渡辺 浩明 先生
(3) 講演 「病診連携・多職種連携における医療用麻薬の使用
～在宅家庭医の立場から～」
更別村診療所 猫本 秀貴 先生
(4) 講演 「医療用麻薬の適正管理について」
北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課
薬物対策係専門員 東 寛 先生
(5) 質疑応答パネルディスカッション
まとめ JA北海道厚生連帯広厚生病院緩和支援治療科主任部 木村 陽 先生

4 対象者 医療関係者（600人）※会場定員（100人）、オンライン定員（500人）

5 参加費 無料

6 主催 厚生労働省 北海道 （一社）北海道医師会
（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 （一社）北海道薬剤師会

8 協賛 麻薬生産者協会

（救急薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共プロファーマ、住友ファーマ、武田薬品工業、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業）

9 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページよりお申し込みください。

11月10日（木）12時まで受け付けます。

10 会場参加における留意事項

- 1) 新型コロナ対策として、検温、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気等の対策を講じることとしております。
- 2) 開催2日前にQRコードを記載した会場受付用メールをお送りしますので、プリントアウト又は画面表示により当日の受付を行います。

- 3) 日本薬剤師研修センターの研修受講単位の交付を希望される方は、薬剤師研修・認定電子システム（PECS）に登録後、各自の「薬剤師メニュー」の「QRコード」を印刷して会場に持参し、受付時と終了時の2回読み取りを行ってください。
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴及び学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

11 オンライン講習会の留意事項

- 1) WEB会議ツールとして「Zoom」を使用します。
- 2) 開催2日前に講習会参加用URLを記載したオンライン受付用メールをお送りします。
- 3) 日本薬剤師研修センター研修受講単位の交付は、交付希望者ごとに当日の受講履歴を**視聴ログで照合**し、その後、受講確認用キーワードの確認を行った後「単位交付対象者リスト」に搭載し、当該リストを薬剤師研修センターに報告します。
なお、薬剤師研修センターへの報告日は希望者の方々にメールで連絡します。
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴を**視聴ログ等で照合**した後、学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

12 お問い合わせ先

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター （原田、白井）
電話 03-5544-8436